

水族館の人気者になってね



ゼニガタアザラシ



保護で増え、漁の「やっかいもの」に

北海道えりも町の海にすむゼニガタアザラシが、次々と各地の水族館に「引越し」しています。絶滅の危機で保護されてきましたが、数が増えて漁業のやっかいものとなり、国がつかまえることを決めました。1月に展示を始めた千葉県水族館は「人気者になってほしい」と期待しています。

(猪野元健)

北海道えりも町



水族館「鴨川シーワールド」で公開された北海道えりも町出身のゼニガタアザラシ(左)とカリフォルニアアシカ=1月31日、千葉県鴨川市

千葉県鴨川市の水族館「鴨川シーワールド」に仲間入りしたのは、推定10か月のゼニガタアザラシのおすです。去年9月にえりも町で捕獲されました。体重は40キロほどと、大人の半分以下です

が、いっしょにくらすアザラシやアシカ約30頭をこわがらなくなっています。「目がくりくりしてかわいい。人気者になってほしい」と館長の勝保浩さんは話します。えりも町周辺の海は、ゼニガタアザラシの国内最大の生息地です。陸地から数百メートル先の岩場でねそべっている姿が見られます。

北海道沿岸のゼニガタアザラシは毛皮をとるためなどの狩や岩場の整備

北海道えりも町の岩場で横になるゼニガタアザラシ=2015年



が進んだことで数が減り、1970年代には4

千葉など5施設が引き受け

日本動物園水族館協会はゼニガタアザラシの「里親」を募集しました。現地で起きていることを伝える役割になると考えられた48頭のうち10頭を、鴨川シーワールドや新屋

00頭以下になりました。保護が進んで2008年には1千頭以上に増え、観光資源になると期待もされました。しかし、数が増えたことで、サケやタコを食べられる漁業被害が深刻になりました。えりも町の漁師は同じ海のめぐみを食べるゼニガタアザラシを大切にしてきましたが、14年度の被害金額は6千万円以上と報告されました。国は16年、えりも町に推定約1千頭を3年で2割減らす管理計画を決めました。

太平洋北部と大西洋北部沿岸域に分布する。名前は、体に古いお金のようがあることに由来する。環境省は1998年に絶滅する可能性が高い「絶滅危惧種」に指定したが、数が増えたことから2015年に、現時点では絶滅の危険度の小さい「準絶滅危惧種」に変更した。水族館などにいるアザラシは、体の表面にゴマのような黒い点が並んでいる「ゴマファザラシ」が最も多い。

千葉県など5施設が引き受けました。えりも町でゼニガタアザラシの保護管理を考えている、環境省えりも自然保護官事務所の蔵本洋介さんは、「水族館で見るとかわいいアザラシですが、生息地では人と野生動物がともにくらすためにさまざまな努力をしていることを知ってほしい」と話します。鴨川シーワールドは新しい環境でくらすゼニガタアザラシについて、将来は繁殖を目指す計画です。